



住友化学グループとは

会社概要 (2024年3月31日現在)

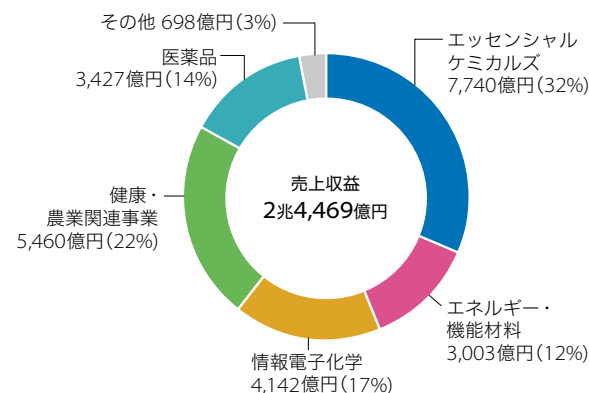
商号： 住友化学株式会社
設立年月日： 1925年6月1日
本店の所在地： 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
東京日本橋タワー
代表者： 代表取締役社長 社長執行役員
岩田 圭一
資本金： 89,938百万円
従業員数： 単体 6,706名 連結 32,161名
連結子会社数： 184社



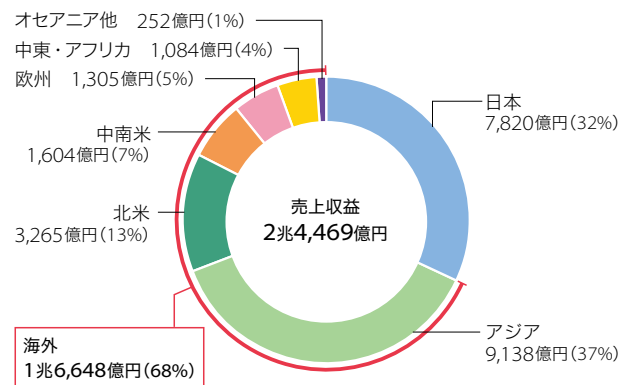
東京本社

財務ハイライト (2024年3月期連結IFRS)

2023年度 事業部門別売上収益／構成比



2023年度 地域別売上収益／構成比



会社概要

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/company/about/>

インベスターズ ハンドブック

https://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/library/investors_handbook/

財務・業績推移 (チャートジェネレーター)

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/finance/highlights/>



社長メッセージ

Innovative Solution Providerへと変革を遂げるために

Key Word

- 長期的に目指す姿「Innovative Solution Provider」
- 「食糧・ICT・ヘルスケア・環境」という4つの分野において、社会課題をイノベーティブな技術で解決
- 事業部門再編のポイントは、社会課題の解決に貢献できる事業領域にフォーカスすること
- GX、DX、BXの3つの重要アセットを活用し、革新的ソリューションを次々と創出
- マインドセットの変革で時代の変化に対応
- 変化を恐れず真正面から向き合い、必要なアクションを迅速に実行



代表取締役社長 社長執行役員

岩田 圭一

社長メッセージは「住友化学レポート2024」をご覧ください。

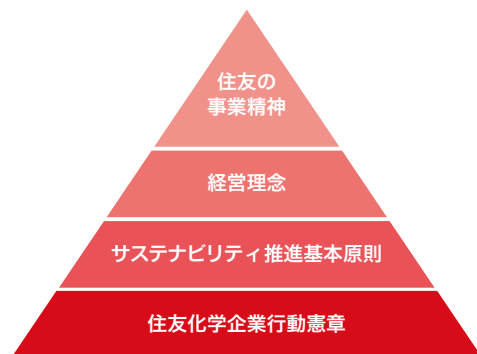
https://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/library/annual_report/files/docs/scr2024#page=7.pdf

住友化学の企業理念

住友化学の事業は、かつて別子銅山の銅製錬に伴って発生する亜硫酸ガスが煙害を引き起こし、その解決が急務となっていたところ、銅鉱石から硫黄分（亜硫酸ガスの成分）を抽出して硫酸・肥料を製造することで、環境問題の克服と農業の生産性の向上をともに実現しようとしたことから始まりました。事業を通じて社会が直面している課題を解決するという考え方は、当社グループのDNAといえるものです。

住友化学の企業理念は、「住友の事業精神」を根本精神とし、住友化学としての基本精神や使命、価値観を整理した「経営理念」、サステナビリティ推進に関する考え方、コミットメントを整理した「サステナビリティ推進基本原則」、コンプライアンス体制のよりどころとなる基本的精神である「住友化学企業行動憲章」から成っています。

■ 住友化学の企業理念体系



企業理念

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/company/principles/>

住友化学グループの目指す姿

サステナビリティ推進基本原則では、住友化学グループにとってのサステナビリティの推進を「事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を実現する」と定義し、その達成を通じて企業価値の向上に取り組むこととしました。経済価値を自利軸、社会価値を利他軸として設定し、経済価値と社会価値をともに創出していく、すなわち「自利利他 公私一如」の実現を目指すことで、企業価値の向上を

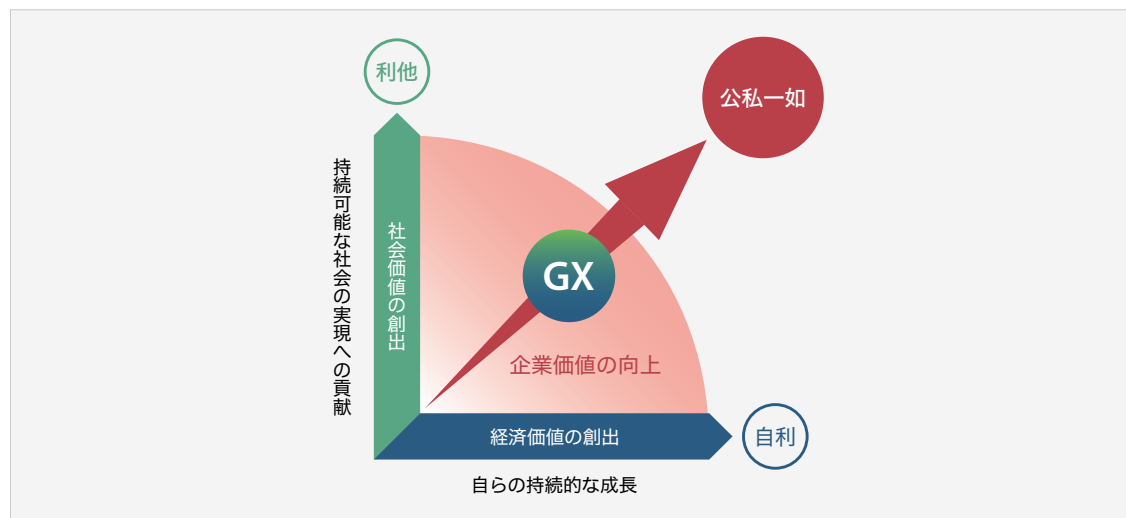
図ります。

近年、気候変動のみならず、生態系保全、健康促進といったサステナビリティの意識が世界中で高まっています。当社はこれを広い意味でのグリーントランスフォーメーション(GX)と定義し、自らの変革と社会への貢献の機会と捉えています。今後、GXの視点で事業ポートフォリオを長期的に変革することで、事業を通じて社会課題の解決に貢献することを目指します。

■ 企業価値向上のイメージ

目指す姿

経済価値、社会価値の両方を創出し、住友化学グループの持続的な成長とサステナブルな社会を実現



自利利他 公私一如

住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない

GX

気候変動、生態系保全、健康促進といった広義のグリーントランスフォーメーション(GX)の推進により、事業を通じて社会課題の解決に貢献